

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ISUZU ID

「安心×斬新」で世界を進化させるイノベーションリーダーを目指す

新車販売台数
85万台以上

売上高
6兆円

営業利益率
10%以上

イノベーション投資
1兆円規模

② 中長期の経営戦略

1. 「運ぶ」を創造する新事業展開

自動運転ソリューション、コネクテッドサービス、カーボンニュートラルソリューションの3領域で新事業に挑戦

3. カーボンニュートラル対応

2030年までに全車種でCN商品をラインアップ。交換式バッテリーEV分野に重点投資

2. 自動運転レベル4事業化

2027年度に日本・北米を皮切りにトラック・バス事業化。2025年4月より公道実証開始

4. 既存事業基盤強化

150カ国以上での事業展開を継続。ブランド横断サービス提供とデジタルマーケティング推進

③ 対処すべき課題

① ドライバー不足・物流課題

- ・自動運転・コネクテッドサービスで物流効率化に対応
- ・カーボンニュートラル社会実現への急務

② 技術開発投資の加速

- ・総額1兆円規模のイノベーション投資を着実実行
- ・藤沢工場内に電動開発実験棟を2026年6月に稼働予定

③ グローバル事業展開と統合

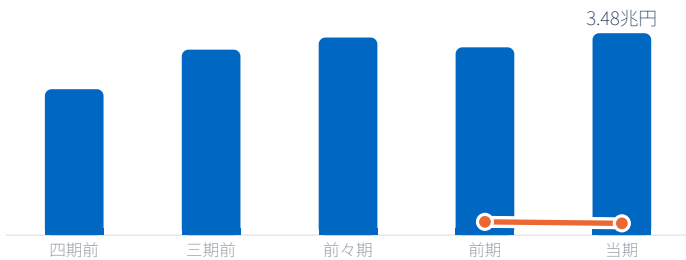
- ・日本でいすゞ販売会社とUDトラックス統合を2027年3月完了
- ・米国サウスカロライナ州新生産拠点2027年中稼働目指す

面接で使えるポイント

- ・150カ国以上での事業展開と35カ国以上でのシェア第1位という圧倒的グローバル基盤
- ・自動運転レベル4技術を2027年度に事業化し、Applied IntuitionやGatik AIなど海外企業と戦略提携
- ・2030年度に売上高6兆円・営業利益率10%以上を目指し、商用モビリティソリューションカンパニーへ変革

証券コード 7202

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.48兆円営業利益率
5.9%財務健康度
49点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
838万円

輸送用機器内 9位/82社

平均年齢
40.1歳

輸送用機器内 77位/83社

平均勤続
15.6年

輸送用機器内 61位/83社

女性管理職
5.3%

輸送用機器内 22位/72社

男性育休
89.5%

輸送用機器内 16位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: いすゞ、路線バス「エルガ」シリーズを一部改良して発売～安全性

